

団体名： 稲武商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考		
				目標①			目標②			得られた効果			A B C D 評価						
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②				
巡回・窓口相談指導事業	一般的に経営基盤の弱い小規模零細企業を中心に、経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問し、融資等の金融相談・申告時期の税務相談・労務相談等経営全般について様々な相談への指導をすることにより、経営及び技術の改善を図り、健全な企業を育成するとともに、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。	巡回指導回数 年間130日 巡回指導実企業数 70事業所 (内非会員分 2事業所) 巡回指導延件数 285件 (内非会員分 2件) 窓口指導実企業数81事業所 (内非会員分 2事業所) 窓口指導延件数 389件 (内非会員分 7件) 課題解決提案件数 20件 経営革新承認件数 0件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 134.8 %)	500	実績数値 674	指標 課題解決提案件数 (達成度 200.0 %)	10	実績数値 20	積極的に、様々な課題に活用できる補助金の周知とともに、活用の事業を提案したところ、経営計画等の相談が増え、指導件数が増えた。巡回・窓口相談指導が小規模事業者の直面する課題解決をするとともに、経営の安定をはかる一助となった。また、会員の満足度や必要性に対しても高い評価をいただいている。	総合評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	巡回目標、巡回地域目標にそって巡回活動をし、全小規模事業者の巡回を1年に1回は行うよう努める。	○
記帳継続指導	個人事業主にし、正しい記帳方法や、決算・確定申告の指導をすることによって、正しい税務申告と、記帳に対する個々の意識を高めることにより、試算表の数字等から経営状態の把握と向上を図ることを目的とする。	記帳の仕方や試算表の見方等の指導 2人、指導事業所数45件 指導回数 322日 指導回数 713回 記帳継続個別指導会を実施回数8回、参加者延45人	小規模事業者	指標 (達成度 100.0 %)	45	実績数値 45	指標 (達成度 %)			記帳継続指導事業所では、記帳継続事業への満足度が高く、記帳継続事業を通して、正しい税務申告や自店の経営状態を把握することができた。	総合評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	新規開業の事業所など、新たな記帳指導事業所の開拓に努め、記帳指導事業所数を増やす。	
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や時々の啓蒙を図り、事業者の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	講習会開催回数及び受講者数 (集団) 4回 65人 (個別) 11回 87人 計 15回 152人	小規模事業者	指標 講習会受講者数 (達成度 76.0 %)	200	実績数値 152	指標 (達成度 %)			今期は、インボイス制度などの税務講習会を実施し、インボイス開始後に今必要な講習を提供することを出来た。また、個別指導により、電子帳簿保存法等の税務知識習得をとおして、特に小規模事業者の資質の向上がはかれた。	総合評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 現行どおり	研修テーマを早期に決め、早くからPR活動を行う。事業者が必要な情報、知識を乗れず取捨していきけるよう努める。	○
若手後継者等育成事業	商工業の後継者である青年、若手経営者及び商業部に携わる女性に対し、青年部・女性部が主体となって各種セミナーを開催し、経営に必要な知識・技術の習得や資質の向上を図る。また、全国のリーダーが一同に会する全国大会に参加することで地域のリーダーとしての意識を高め新たな発見を促す。	事業承継セミナー I インボイス制度開始 12名 II 働方改革法案対応 11名 III SNSなどの危機管理対策10名 全国大会参加 5名 資質向上セミナー SNS活用講習会 13名 おとなの美文字講習会 11名 身近な素材活用講習会 14名 女性部PR動画作成 20名視聴456回	小規模事業者	指標 参加者対象アンケートで満足と答えた割合(%) (達成度 125.0 %)	80	実績数値 100	指標 講習会・研修会 受講者数 (達成度 97.4 %)	78	実績数値 76	青年部は3回のセミナーを通して、事業承継に当たり将来に向けて事業の持続性を持たせるために、今の経営環境を正しく捉え、それを踏まえた上での事業課題について学び、経営者として何に配慮していくべきか認識できるようにとなった。また、女性部の資質向上セミナーでは、『SNS活用講習会』、『身近な素材活用講習会』、『女性部PR動画』作成を通じ、学んだ技術を加事業に活かすことが出来たとともに、稲武の良さ、女性部として活動することの意義を再確認するキッカケとなった。	総合評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	多くの部員が、積極的に研修に参加するよう、参加募集を積極的に行う。	
祭典事業	各種のお祭り・祭典などを開催することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し地域の産業（地域資源、観光資源）PRの機会とするとともに、地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	「マイカおいでん稲武」6店舗 「稲武まつり」0店舗 「ふれあいまつり」7店舗 稲武まつりが悪天候のため中止となり、出店が急遽取りやめとなり、実績に大きく影響してしまっした。	小規模事業者	指標 出店等参画事業所数 (達成度 43.3 %)	30	実績数値 13	指標 (達成度 %)			コロナ前の開催方法へと事業は戻りつつあったが、出店者のPRや展示方法をさらにブラッシュアップしていく必要がある。次年度へ向け始める準備を進めていく。	総合評価 C	自己評価 D	調査結果 B	満足度 B	補足 悪天候により一部事業中止	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	次年度は、展示の改善提案と積極的な参加を促し、早めに準備を進め、出店者のPRや売上アップを図る。	
商店街・街づくり事業	消費者の生活形態の変化、郊外型大型店等への購買力流出など、地元中小事業者が抱える様々な経営課題解決に向け、地域活性化、集客力向上につながる魅力あるイベント事業の実施等、地元事業者の活性化を通して地域振興、街づくりに寄与することを目的とする。	商店街活性化計画のもとに「ソーシャルビジネス」の「いなぶのお買物配達便」の実施(R5年度実績) 318件 1,660,877円 ・街並みの灯り事業 ・ミネーションとキャナルを使った年末売出しイベントを実施(1/14) 抽選本数1,120本 商店街活性化計画への参画事業所数 19店舗	小規模事業者	指標 商店街活性化計画への参画事業所数 (達成度 95.0 %)	20	実績数値 19	指標 (達成度 %)			H25年9月からスタートしたソーシャルビジネス「いなぶのお買物配達便」も徐々に周知されつつあり、固定客も増えてきており、新規顧客の獲得につながるケースもあり、今後への期待と可能性は大きい。	総合評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	「いなぶのお買物配達便」は独自財源で実施するため、地元商店の武器としてできるよう、一層の周知と事業内容の検討が必要である。	○

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

団体名： 稲武商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考									
				目標①			目標②			得られた効果			A B C D 評価											
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果			満足度	補足	目標①	目標②					
産業活性化事業	それぞれの地域の特性を活かした地域資源の活用や、特産品の開発普及・PRなどを行い、また、地産地消の推進などを行うことにより、企業の発展及び地域産業の活性化に資することを目的とする。	ふるさとふれあいワゴン 545名 稲武産品ギフト「中馬街道物語」稲武特産品のPRのためギフト販売を実施 参加店舗10店舗 道の駅どんぐり内チャレンジショップの活用 9店舗 展示会の参加:とよたの特産品展4店舗、金山駅IKO→Ma111店舗	小規模事業者	指標	稲武産品ギフト利用者数 (達成度 85.7%)			指標	(達成度 %)			事業実績の取り組みにより、事業者相互の連携も高まり、出展などで、直接消費者の声を聞くことで、新商品開発に着手する事業者も出てきており、それぞれの事業の活性化が期待できる。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	目標とした利用者数達成のため、稲武産品ギフト「中馬街道物語」の認知を高め、利用促進を図る活動を行う。	○
				目標数値	35	実績数値	30	目標数値	実績数値	目標達成度	B					必要性					現行どおり	実施方法①		
青年部・女性部事業	青年部・女性部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	ウォーキング大会 (5/21)、稲武おいでんまつり (6/24)、シロキヤラリー (10/8)、ラリー (11/17) 出展、道の駅どんぐりの里いなぶ出店 (8/6~11/12の期間中9回出展) 地区1'7大会主催 (11/26) 花いっぱい事業 (花の植替え作業) 1回、寄せ植え講習会開催、民謡踊る会の踊り練習会に参加	小規模事業者	指標	青年部・女性部員数 (達成度 114.3%)			指標	(達成度 %)			活動を通して部員相互の交流を深めるとともに、コロナ明けの『どこでも稲武』事業を新たに進化させ積極的に利用し販促活動等行うことができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	新たな部員確保のため、部員一丸となって、加入勧奨活動を活発に行う。	○
				目標数値	42	実績数値	48	目標数値	実績数値	目標達成度	A					必要性					上げる	実施方法①		
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図るために、各種共済制度の普及や従業員の健康診断事業の実施等、企業の健全な育成に資することを目的とする。	・各種共済の普及推進 特定退職金共済 (70件) 中小企業共済 (288件) 愛知火災共済 (61件) 商工災害生命共済 (19件) 計438件 ・事業所健康診断の実施 26事業所、285人	小規模事業者	指標	共済加入件数 (総数) (達成度 136.4%)			指標	(達成度 %)			積極的に福利厚生の推進を図り、共済加入者の増加を図った。小規模事業者が自社の福利厚生の充実をはかり、企業の健全な発展をはかるための、一助となった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	事業所の福利厚生の充実、退職金の備え、健康診断受診の必要性等の理解を得るための活動に重点を置く。	○
				目標数値	321	実績数値	438	目標数値	実績数値	目標達成度	A					必要性					上げる	実施方法①		
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	・労働保険料の年度更新及び従業員の資格取得喪失等の手続きを代行 35事業所 対象従業員101人	小規模事業者	指標	委託事業所数 (達成度 100.0%)			指標	(達成度 %)			小規模事業者の事務処理の適正化及び負担軽減がはかれている。更に、委託事業主からは、社会保険をはじめ、従業員雇用に関する相談を受け、信頼を得ている。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	事業所の福利厚生の充実、退職金の備え、健康診断受診の必要性等の理解を得るための活動に重点を置く。	○
				目標数値	35	実績数値	35	目標数値	実績数値	目標達成度	A					必要性					現行どおり	実施方法①		
青色申告会・法人会	青色申告会・法人会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国、地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては、地域商工業の活性化に資することを目的とする。	・研修会：経営講習会 参加者 25名 「令和5年度税制改正及びインボイス制度について」参加者 19名 ・地域貢献活動 地域の交通安全推進のため、制限速度抑制の看板を商店街に設置し、地域の安全に寄与した。 法人会・青申告会会員数 76名	小規模事業者	指標	法人会・青色申告会会員数 (達成度 95.0%)			指標	(達成度 %)			研修により正しい税知識の習得や税制改正の情報を得ることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	どの団体も、会員数の減少が心配されている。新たな会員を増やすためにも、活動内容の検討を行っている。	○
				目標数値	80	実績数値	76	目標数値	実績数値	目標達成度	B					必要性					下げる	実施方法①		
産業団体	稲武カード会や各種団体等、産業振興・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては商工業の活性化に資することを目的とする。	・稲武カード会 (売出し (8月・12月)、抽選会 (1月)、イベント)設置 (12月~2月) 他) ・食品衛生協会稲武分会 (検便 (5月、10月) 他) ・愛建連北設案支部 (コロナウイルス、インフルエンザの感染拡大により木工教室等の事業を中止 他) ・木材組合 各種団体構成員数合計76名	小規模事業者	指標	構成員数 (指導団体計) (達成度 95.0%)			指標	(達成度 %)			それぞれの団体により、活動状況に差があり、構成員を増やすためにも活動が活発になるよう協力や指導を行い、構成員の意識が変わった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	どの団体も会員数の減少が心配されている。今年度の事業成果を来年度以降の事業に活かせるような事業を検討する。	○
				目標数値	80	実績数値	76	目標数値	実績数値	目標達成度	B					必要性					下げる	実施方法①		
調査・広報事業	当地区内の景気状況や需要動向を把握し、今後の施策や指導に役立てるとともに、回収したデータを分析・公表するとともに必要な諸施策を検討し、効果的かつ効率的な指導に繋げることを目的とする。	地域経済動向11/1~12/10 ・事業主意識調査 有効回答54社 (89社中) 需要動向調査 ・AIカメラによる来訪者分析場所:道の駅どんぐりの里いなぶ 歩行者11/1~11、11/23~12/10 ・どんぐりの里いなぶ来訪者に対しアンケート調査 200件 調査結果は、理事会等の会議で報告、備考欄に○を付すこと。	小規模事業者	指標	地域経済動向調査実施企業数 (達成度 54.0%)			指標	(達成度 %)			事業主意識調査を行い、現状を把握することに繋がった。この結果を今後の事業展開に反映させる。また、需要動向調査も実施し、事業者へフィードバックする事が出来、商品開発や今後の店作り改良に活かせる。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	A	満足度	補足	目標①	目標②	アンケート回収率を上げ、今後の事業に活かすことが課題である。	○
				目標数値	100	実績数値	54	目標数値	実績数値	目標達成度	C					必要性					現行どおり	実施方法①		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。